

建築ITコミュニケーションデザイン論 第6回
速度とスケール。Powers of Ten, 時間の文化史、鉄道旅行の歴史
本江正茂
2011年6月15日水曜日

■チャールズ&レイ・イームズ "Powers of Ten"

スケールの移動。宇宙のなかで、例外的に豊かな我々のスケール

■西村佳哲ほか『一日/A DAY』

「最も強い生物時計のひとつ「日周期」をテーマとする」

「太陽と潮汐、気象、バクテリア、植物、昆虫、動物たち、ヒトの身体、人間社会を横断する11の映像」

「一日を96秒で表現する、11のコマ落とし映像を横並びに同期投影。」

http://www.livingworld.net/10_aday/index.html

■20世紀：速度への熱狂

ステューブン・カーン『時間の文化史』浅野敏夫訳、法政大学出版会、1993

大西洋横断競争

懐中時計：「短い時間」への関心。時間厳守の感覚。

自転車、自動車、最初の公道における速度制限

電車・電気・電信・電話

工場労働、フレデリック・テイラー「科学的管理」 Fordism, 「モダンタイムス」

Ford vs GM

マイブリッジの連続写真, デュシャン「階段を下りる裸体 No.2」1912

ストラビンスキー「春の祭典：聖なる踊り」1913

もっと速く／もっとゆっくり

■鉄道旅行の歴史

ヴォルフガング・シヴェルプシュ『鉄道旅行の歴史：19世紀における空間と時間の工業化』

加藤二郎訳、法政大学出版局、1982

テクノロジーの導入による空間認識の変容という主題

原動力の機械化、機械による新しい運動、カッサンドル、唱歌「汽車」

鉄道の空間、鉄道の時間

19C初期、時間の短縮＝空間の収縮とだけ表現

実は、空間の収縮と、空間の拡大の二重の現象。

スプロールは鉄道にはじまる。

時間と空間の抹殺、アウラの喪失、ヴェンヤミン

標準時

地方は独自の時間を失う。

「標準時」は鉄道運行のために採用されたシステム。



子午線：緯度経度、メートル法

時間、空間、地球の標準化。

Q 現代における速度とスケールの変容は、今後どのように評価されることになるだろうか？